



令和8年 9月の園だより



くまの・みらい保育園

身体を動かすことが大好きな子に

先日運動会の練習を、年中、年長でやった時の話です。年長クラスのフープの演技を見て、年中の子どもたちは「白組、すごい！」「カッコいい」と目を丸くして見ていたようです。その年長の子たちの姿はやる気一杯！目をキラキラ輝かせ、真剣に取り組んでいました。今まで、みんなで力を合わせることを体験してきた年長さん。何より一人ひとりが「やる時にはやる！！」という気持ちがとても育っているように思いました。お泊り保育で自分のことは自分ですることができたことも自信につながっているのでしょうか、成長をとて感じます。また年長の子どもたちは何か決める時にはよく話し合っています。リレーの順番も子どもたちで話し合っ決めて、フープの演技の動画を見て、子どもたちは「ここがよかった。」「もっとこうしたほうがいいね。」「じゃあこうするのはどう？」と意見を言い合うほど、自分の思いも言える子が増え、次の目標も決まったようです。

年中さんが憧れのバルーンを初めて園庭でやった日には、みんな笑顔で楽しみました。バルーンの中に入って隠れる所が大好きで、音楽に合わせてタイミングよく入り、わくわく演じていました。ピンクの大バルーンも頑張っあげていた年中さんは、最後のポーズで、「どう？みて？」といわんばかりな笑顔いっぱい自信満々な姿でした。

くまの・みらい保育園の子どもたちは身体を動かすことが大好きです。ブランコを高くこぎたい！鉄棒で前回りをやりたい！雲梯が上手になりたい、かけっこで思い切り早く走りたいなど、一人ひとりやりたいことは様々で、どの子もいろんなことに挑戦しています。

0歳の時より、ハイハイをしたり、あんよができるようになれば体のバランスもとれるようになる赤ちゃん。1歳は、上ったり下ったり小さな段をジャンプしたり、とにかく自分がどのくらいまでできる

か試したい時期なので、段ボールの滑り台などを準備すると、全身を使ってよじ登り、何度も繰り返し体を動かして遊んでいます。担任は子どもの姿を見て、やりたがっていることを観察して、環境を考え、少しずつ変化させています。

東京大学名誉教授の汐見稔幸先生はご自身の著書の中で「体を使うことが大好き・自分で考えることが大好き・人と関わることが大好き」。この3つのことは「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」のあれこれを言い換えたもので、全ての出発点はこの3つの延長線上にあり、乳幼児期の過ごし方や非認知能力の獲得が、子どもたちの未来を託す鍵になる」と言われています。また現在改訂の準備が進んでいる保育所保育指針(令和10年から施行)の中で、その改善の方向性として、「たくさんの活動を活発に行うようになる、0歳の頃から、園全体で身体全体を使って遊びこむ活動を充実させることが、これからは大切になってくる」とされています。

乳児期に可能な限り、やりたいことを思う存分、満足いくまでできるようにすることや、幼児になってからも身体全体、あらゆる感覚を使ってたくさんの経験ができるようにしていきたいと思っています。豊かな思考が育つためには、乳幼児期の全身を使ってあそびこむことが必要で、日頃のあそびが運動会にもつながっています。そして、そこには大好きなお友だちや、保育者、営繕の先生、給食の先生、看護師の先生とあらゆる立場の大人も関わりあっています。

物も人も子どもを取り巻くすべての環境の中でのびやかに、そして粘り強く育って欲しいと思っています。

運動会、親子でしっかり身体を動かして楽しみましょう。子どもたちの演技も楽しみにしてくださいね。

くまの・みらい保育園 園長



読書週間

10月27日～11月9日は「読書週間」です。保育園にはたくさんの絵本があります。親子で読みたい絵本を選んだり、本に触れる機会を作ってみましょう。図書館や本屋さんに出かけるのもいいですね。秋の夜長、親子でゆったりと絵本を楽しんでみましょう。絵本が大好きな子どもたちに育ってほしいですね。

お願い

事務所前に、くまどくのお山がはってあります。絵本を読んだ次の日には1枚シールを貼ってくださいね。下から順番にお願いします。

廃材を集めています

玄関前に廃材ボックスがあります。いつもお家から持ってきていただき、ありがとうございます。ピザ窯を作るのに、レンガの様に土を固めるため、豆腐のパック大がたくさん欲しいです。ご協力お願いします。

ハッピーな瞬間



だんごむしのあ
かちゃんがいた
よ！
みみずみたいな
むしもいる！

はたけとたんぼのつちってちがうね！
じっけんしてみよう！



おみずいれてきて！

役割分担して
遊んでいます。



どろんこきもちいい～！！



あし
うもれちゃった！
きもちいいな～！

とこせんせいとい
っしょに、いっば
いあそんだよ。



畑の土とたんぼの土をテラスに山にして置いておくと、みんなが集まってきて、砂の感触を味わったり、中に入っている虫や草、根っこにも興味関心を示す子どもたちでした。砂の感触を味わい、そばにある藁を立てたり埋めたり、水を入れたり、足で踏んだり混ぜたり、夢中で遊ぶ姿が見られました。これからどうなっていくのが楽しみです。